



教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

◆小中連携研究会

町内の全教職員が集まり、学力向上や中学校への進学など、小中学校の連携を図るために標記の会を開催し、授業参観や情報交換を行っています。

その一環として、6月16日（金）に大崎中学校で本年度の第1回大崎町小中連携研究会を開催しました。

まず、体育館にて大崎中学校の学力向上のための取り組みが報告されました。同校では、生徒が対話を通して互いに学びを深めていく『学びの共同体』の研究を進めています。

この日は、1・2年生の社会・英語・音楽の授業参観が行われ、グループ学習を通して生徒同士が分からないところを共有したり、お互いに教え合ったりしながら真剣に課題解決に取り組んでいました。

授業参観後の意見交換会では、子どもたちの学び合いを深めるためには各学校でどのような取り組みが必要かということについて多くの意見が出され、今後の授業を進める上での研修を深めることができました。

これからも、学力向上や生徒指導等の充実を図るため、小中学校のさらなる連携を進めていきます。

次回は、12月に大崎小学校での開催を予定しています。



授業参観（社会科）



授業参観（音楽科）

まびの窓おの庭

『“プラス言葉”の力』

No.44 菱田小学校 校長 押領司 なおみ

自らの存在をかけがえのないものと肯定的に受け止める感情、それが自己肯定感です。この感情が高くなれば、少々のことでもめげない意思力、そして自らの潜在的な伸びしろを意欲的に拓こうとする行動力が強くなると言われています。その向上を図るための推進力は、もちろん子どもたち自身の努力ですが、ご家庭の関わりで、子どもたちの自己肯定感は加速度的に向上します。それは日常の中での何気ないひと言の持つ『力』です。

たとえば、朝「のろのろしないで早くしなさい。」と「いつもより少し早く準備ができたね。」、同じ状況の言葉でも、子どもにとって前向きになれる言葉が『プラス言葉』です。できる、できないという『結果』に焦点をあてず、やろうとしている『姿勢』や一進一退しながら少しずつ進歩していることに目を向けて、『そんな自分ってすごい』と勇気づける言葉かけをすることが大切です。言葉かけを変えることで、子どもの心も自分自身の心も変化していきます。心が変わると行動も変わります。『私には可能性がある』『私は素晴らしい存在だ』と心の中にプラスの『思い込み』がつけられていくと思います。『プラス言葉』は自己肯定感を高めるので、自分に自信がもてて、いろんなことに挑戦したり積極的に行動できたりします。さらに、心にゆとりがあるので他人に優しく接することもできます。大切なのは、『愛されていると実感させること』『自信を持たせること』の2つがポイントです。

子どもは可能性をいっぱい秘めている素晴らしい存在。『希望の種』が花開くのを、今か今かと待っているのです。大崎の子どもたち誰もが『輝く一番星』。周りの大人の言葉が子どもをつくっていきます。『温かいプラス言葉』で子どもたちを育ててほしいと思います。